

令和8年(2026年) 9月30日

保護者の皆様

札幌市立東光小学校
校長 川見 明子

令和8年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

清秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、御理解と御支援を賜り、感謝申し上げます。

さて、4月に児童の学力・学習状況の把握分析を目的として6年生で実施した「全国学力・学習状況調査」の結果及び分析について御報告します。また、「児童質問紙」（生活習慣や学習環境に関する調査）の結果及び分析についても御報告します。

本校の概要、課題と改善方法について

【国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 「言葉の特徴や 使い方に関する事項」 ・全国平均を下回っている。 「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均を下回っている。 「話すこと・聞くこと」 ・全国平均を下回っている。 「書くこと」 ・全国平均を下回っている。 「読むこと」 ・全国平均を下回っている。	●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと ●比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと ●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと ●資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること	●各学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使おうとする習慣を身に付けられるようにする。 ●どのような表現の工夫があるかということだけでなく、表現の工夫を用いることのよさや効果についても整理をする。 ●図示などにより語句と語句との関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることができるところを理解する。 ●聞き手の興味・関心や情報量などを予想し、補足説明が必要な箇所や言葉だけでは伝わりにくい内容について、どのように資料を活用すればよいかを考えられるようにする。

【算数】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 「数と計算」 ・全国平均を下回っている。 「図形」 ・全国平均を下回っている。 「測定」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「変化と関係」 ・全国平均を下回っている。 「データの活用」 ・全国平均を下回っている。	●数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、小数や分数の数の大きさについて考えること ●立体図形について、図形を構成する要素に着目し、図形の計量や図形の構成の仕方を考えること ●問題場面の数量の関係に着目し、二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考えること ●日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフを読み取り、見いだしたことを表現すること	●小数の加法及び減法の計算は、整数と同じ原理、手順でできることを理解できるようにする。 ●図形の構成・分解をする際、具体物の観察を通して、頂点、辺、面の個数や辺の長さについて考察できるようにする。 ●示された基準量に対して、様々な比較量がどれだけに当たるかを、図を通して考察できるようにする。 ●表やグラフの特徴や傾向を把握する前に、正しく集計できているかを確認し、誤りの有無の根拠を、表やグラフ、集めた資料の数を基に説明できるようにする。

本校児童の質問紙調査の結果について

結果 特に『○よかったところ（全国平均よりも高かった項目）』と、『●今後の課題（平均よりも低かった項目）』を掲載

- 学校に行くのは楽しい。 ○先生は、あなたのよいところを認めてくれている。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい。 ○人の役に立つ人間になりたいと思う。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- ICT 機器を使った情報収集、文章作成、プレゼン作成ができる。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。
- 1日当たりの学習時間。

本校の6年生は「学校生活の楽しさ」「多様な意見を尊重する心」「ICT 機器の活用力」が高く、安心感をもって生き生きと学んでいます。一方で、「学習の振り返り（見直し）」や「家庭での学習時間の確保」に課題が見られます。

今後は、自分の学びを確かめる習慣を育むとともに、主体的に学ぶ力の定着を目指してまいります。ご家庭におかれましても、温かいお声がけと学習環境づくりの御支援をお願いいたします。